

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 神石高原町立油木中学校
教諭 秋山 美文
教諭 佐々木賀保三
教諭 松井 一樹

- 1 日時 平成25年11月1日(金) 2校時
- 2 学級 第3学年A組 16名(男子9名, 女子7名)
- 3 場所 3年A組教室
- 4 単元名 町の豊かな未来に向けて, 自分の考えを町全体に広げよう
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は, 地域の自然や産業, 歴史などを調査し, 地域の現状を知り, 課題を見つけて, 地域の豊かな未来のために何ができるか考えるとともに, 自己の生き方を考えることを目標としている。本校の総合的な学習の時間の目標である「自ら課題を見つけ, 自ら学び, 自ら考え, 主体的に判断し, よりよく問題を解決する資質や能力や学び方やものの考え方を身に付け, 問題の解決や探究活動に主体的, 創造的, 協同的に取り組む態度を育て, 自己の生き方を考えることができる」の仕上げとなる単元である。

本単元では, 地域の現状を調べるために, 地域に積極的に働きかけることを通して, 探究の方法を学び, 地域の課題を解決する方策に関する提言をまとめることで, 社会の一員としての自分の生き方を考える場になることが期待できる。また, データを収集し, 提言に反映するための分析を行い, 適切に活用させることで, 思考力が大いに高まることも期待できる。

学習活動は, 自分たちでどのような資料が必要か検討し合い, 行政の資料や地域の人々, 生徒へのアンケート, 聞き取りなどを行い, データ化し, それを根拠に自分たちの意見を提言としてまとめさせ, 文化祭で発表するよう計画する。

(2) 生徒観

本学年の生徒は, 1年次では, 福祉と職場訪問学習を, 2年次では職場体験学習を通して, 働くことについて主に学習してきた。また, 2年次の後半は, 異文化理解学習として, 沖縄と広島を比較するという視点で調べ学習を行い, 自然や産業などについて調べて発表した。これらの学習を通して, 地域への関心を高めることができた。

本単元のはじめでは, 油木についての過去と現在, 将来のイメージをグルーピングして, 「自然」, 「産業」, 「町おこし」, 「交通」の4テーマにしぼり, 4人ずつの4グループで, それぞれのテーマを分担し活動している。油木の「過去」の状況として, 人口が多かったこと, 自然が豊かだったこと, 道路が狭く交通が不便だったことなどが出されたが, 具体的にいつ頃から何が変わってきたかという知識はなく, 様々な時代の出来事が交錯している。

7月に行った生徒意識調査では, 次のような結果が得られた。

質問事項	肯定	否定
自分たちの地域に関心がありますか。	15	1
自分の考えや思いを文章にするのは得意ですか。	6	10
グループの意見をまとめて発表できますか。	14	2

この結果から, 本学年の生徒は, 地域に対する関心が強く, 考えをまとめて発表することにも自信をもっていることが分かる。実際に, ゲストティーチャーを依頼して授業を行った際にも, 自分の住む地域の良いところを問われて, どの生徒も即座に良い点を挙げることができていた。一方, 文章にまとめることには苦手意識が強く, この点が課題であることが分かる。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては, まず初めに, 地域の状況を多面的に把握させるために, シンキングツールの一つである座標軸を用いて, 油木地域の過去と未来について, 様々な観点を生徒達自身に設定させ, その観点について, プラスとマイナスで評価して課題を整理させる。

情報収集に当たっては, 地域へのアンケート実施や行政への資料提供依頼, 外部人材への聞き取りなど, 多様な情報収集を行わせ, 協同的な学習活動を設定して, そのデータを処理させ分析

させる。このデータ処理に際しては、数学科とも連携して、コンピュータを活用し、グラフ化する技術を習得させ、根拠を明確にした提言を考えさせたい。

本学級の生徒達は、文章化することへの苦手意識が強い傾向があるため、それぞれのデータを分析した担当生徒からの意見や、自分やグループの考えをシンキングツールを使いながら協同的に学び合い、要点をまとめて文章化することに習熟させたい。

6 単元の概要

(1) 単元の目標

- ・「油木学」をテーマに、地域の自然や産業、歴史などを調査し、地域の現状を知り、課題を見つけて、地域の豊かな未来のために何ができるか考えるとともに、自己の生き方を考える。
- ・地域社会の一員として、なすべきことを考え協力して活動する。
- ・「キャリア（将来設計）」をテーマに、自己をさまざまな観点から見つめて分析させ課題を見付けさせるとともに、進路探究学習を行い、将来を見通しながら社会で通用するためのスキルの習得をめざして、「生きる力」を身につけさせる。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析する。(思考判断)
- ウ 主体的に情報を集め、適切に選択し活用する。(収集整理・分析)
- エ 相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。(表現)

【自分自身に関すること】

- オ 自分の人生や将来、職業について具体的に考える。(将来展望)
- カ 自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動ができる。(計画実行)

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 仲間と協力して根気強く課題を追究し解決する。(協同)
- ク 社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動する。(社会参画)

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域の現状と課題
- イ 地域社会の一員としての自己の生き方
- ウ 進路情報による、意思決定

7 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
単元の評価規準	①課題に対して興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、学習課題を追究している。【(2)－ア、(3)－ア】 ②各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析している。【(2)－イ】 ③主体的に情報を集め、目的に合う情報を選択し活用している。【(2)－ウ】 ④相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。【(2)－エ】	①自分の人生や将来、職業について具体的に考えている。【(2)－オ、(3)－ウ】 ②自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動をしている【(2)－カ】	①仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。【(2)－キ】 ②社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動している。【(2)－ク、(3)－イ】

8 指導と評価の計画（計47時間）

段階	時数	学 習 活 動	評価規準及び 主な評価方法	
課題の設定	8	<ul style="list-style-type: none"> ○1・2年次の学習の振り返り（1・2年次の学習と関連） ○単元の目標と学習の流れの理解 <ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだ事（地域の産業調べ）を振り返る。 ・シンキングツール「座標軸」を用いて、油木の過去について知っていることや未来予想や理想について書き出し整理する。 ○学習課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・各自興味を持ったテーマを選び、同じようなテーマの人と班（数人）をつくり、班ごとに課題を設定する。 	学① 学②	ワークシート ワークシート
情報の収集	9	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料や知りたいデータをリストアップする。 ・データの入手方法を検討し、収集する。 ・地域を歩き、各班のテーマについて情報を集める。 ・地域の人をゲストティーチャーとして招聘し、聞き取りをする。 ・行政等と連携し、必要なデータを集める。 	自② 学③ 他①	ワークシート 行動観察資料 行動観察
分析・整理	2	<ul style="list-style-type: none"> ○整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・集めた資料を基に、油木の特徴や課題をまとめる。 ・不足している資料がないか検討する。 	学③	行動観察制作物
情報の収集	3	<ul style="list-style-type: none"> ○調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各班で必要なデータを出し合い、地域の人々にアンケート調査をする項目をまとめる。 ・アンケート用紙を作成する。 ・アンケートを地域に配布し、協力を求める。 	他① 学④	行動観察制作物
整理・分析	18	<ul style="list-style-type: none"> ○整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を集約し、表やグラフにまとめる。 ・ゲストティーチャーから、データの分析についてアドバイスを受ける。 ・アンケート結果や収集したデータから、油木の現状を分析し、問題点を見付ける。 ・ゲストティーチャーによる評価を受ける。 ○個人でのデータ分析 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループのテーマに沿って、個人でデータを分析する。 ・個人がデータを解決するためのポイントを整理する。 ○情報処理 <ul style="list-style-type: none"> ・個人に必要なデータを他のグループのデータ等も参考にして再整理する。 ・データを分析し、適切なグラフや表にまとめる。 ・シンキングツールの「データチャート」を用いて、グラフや表等のデータから特徴などを読み取る等の分析を行う。【本時17／18】 ・町への提言内容の構成を行う。 	他② 学① 学③ 学④ 他① 自①	発表資料 ワークシート 行動観察 ワークシート 行動観察 ワークシート 制作物
まとめ・表現	6	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・提言内容をポスターにまとめる。 ・学年で、ポスターセッションを行い、質問を受け、内容の改善を行う。 	他②	行動観察
	0	○文化祭での発表		
振り返り	1	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の反省をもとに、自分たちの活動を振り返る。 	他②	ワークシート

9 本時の展開

(1) 本時の目標

グラフ等の資料から読み取った特徴や傾向，分かったことを検討し，説得力のある提言になるよう相互評価することができる。

(2) 本時の観点別評価規準

仲間と協力して根気強く課題を追究し，解決している。

(3) 準備物

パソコン (4)，プロジェクター (4)，ホワイトボード (4)，データチャート (4)
 ホワイトボードマーカー (2色×4本)，指示棒 (1)，ワークシート (人数分)

(4) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点 (●個別の指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導入	1 前時の振り返り ○前時の学習内容を確認する。 ・4つのグループに分かれて座り，今日の発表者はパソコンを使用できるようにする。 ・シンキングツール「データチャート」を用いて，これまでの学習内容を振り返らせる。 2 本時の学習内容 ○本時の目標を知る。	・これまでの学習内容を想起させる。 ・他の3人の報告を，データチャートに記入させておく。	
	資料から読み取った特徴や傾向の分析結果を，グループで相互評価しよう。		
	○相互評価の観点を確認する。 ・個々の課題と調査し作成したグラフや資料，提言内容との関係を確認する。	・具体的なデータを根拠とした提言内容となるよう留意させる。	
	データ分析を評価する上での確認ポイント ・根拠を裏付けるグラフや資料等のデータが分かりやすく提示されているか。 ・資料を正しく考察しているか。 ・提言に結びつく分析になっているか。		
展開	3 発表と整理・分析 ○グループ毎に，担当者が資料の分析結果を報告する。 ・まとめたデータと分析結果について，ナンバリングしながら説明する。 ○グラフの種類や分析方法が妥当か，グループで検討する。 ・グラフの種類や項目について，検討する。	・発表パターンを示す。 ・プロジェクターを活用させて，スクリーンに表示させながら説明させる。 ・聞き手には，積極的に質問することを確認させる。 ・司会者を決めておく。 ・教師は，自然・町おこし・産業・交通の4グループを分担してアドバイスをする。	・仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。 (行動観察・ワークシート)
言語活動の充実	グラフ作成のポイント ・大きさ(量)の比較(棒グラフ) ・内訳や割合(構成比)(帯グラフ，円グラフ) ・変化や推移(折線グラフ)		
	・分析結果と，その考察の妥当性を，「グラフを正しく分析しているといえるか。」，「考察は提言の内容に沿っているか。」，「グラフから他に読み取れることはないか。」ということに重点を置いて協議する。	●活発な話し合いができていないグループには，教師が参加し質問や意見を具体化する。 ・グラフ作成のポイントを踏まえた分析になっているか	

	<p>予想される反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グラフの種類を変えた方がよい。 ○グラフの見方をまちがっているのではないか。 ○別な考察ができる。 ○グラフの内容と提言の内容が、……なので合わない。 <p>・グループの協議内容をまとめデータチャートに考察を記入する。</p>	<p>ということに注目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて、その場でパソコンを使って、グラフの種類を変えても良いことを指導する。 <p>・キーワードか単文でまとめるよう指示する。</p>	
まとめ	<p>4 本時のまとめ</p> <p>データチャートを示して、本時の協議内容を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのデータチャートを黒板に貼る。 ・グループ全員が前に出て発表する。 ・ワークシートに、他のグループの発表を聞いて気付いたことを記入する。 <p>5 本時の振り返り、次時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、次時の課題を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者の支援と、視聴者の支援を分担して行う。 ・指示棒を使って発表させる。 ・他のグループの発表を参考にするために、自分たちのまとめと比較しながら聞かせる。 <p>・適切なグループ活動を行うことができたか自己評価を書かせる。</p>	

資料<シンキングツール>

○データチャート 提言「 」

項目	出典	考察
現地調査の結果	調査
統計データ	広島県統計年鑑
聞き取り	〇〇さんからの聞き取り
アンケート結果	中学生へのアンケート	

<板書計画>

本時の目標 **資料から読み取った特徴や傾向の分析結果を、グループで相互評価しよう。**

活動の流れ

- 1 本時の学習内容
相互評価の観点の確認
- 2 グループ内で発表、協議
整理分析し考察をまとめる
(データチャート)
- 3 まとめ 交流 (データチャート)
- 4 本時の振り返り、次時の確認

評価のポイント

- ・グラフや資料等のデータを多様な見方で分析しているか。
- ・資料を正しく考察しているか。
- ・提言に結びつく分析になっているか。

テ ー マ 町 お こ し 提 言 「.....」	テ ー マ 産 業 提 言 「.....」	テ ー マ 交 通 提 言 「.....」	テ ー マ 自 然 提 言 「.....」								
項目	出典	考察	項目	出典	考察	項目	出典	考察	項目	出典	考察
コンビニの効果	インターネット	必要なお店	アンケート調査	備蓄と避難経路	役場への聞き取り	放牧可能頭数	広島県統計年鑑 インターネット
コンビニの栄養	インターネット	将来の農業人口	生徒アンケート	他市町の状況	他市町への聞き取り	放牧の利点と課題	研究機関資料
料理	アンケート インターネット	商業との関連	生徒アンケート	防災意識	アンケート	堆肥化のメリット	インターネット
消費量の変化	インターネット		農業人口と年齢	県統計年鑑 役場資料		避難経路	アンケート 地形図		牛の頭数の変化	県統計資料	

1 単元名

「町の豊かな未来に向けて、自分の考えを町全体に広げよう」
 「進路情報の収集をし、将来を見通しながら意志決定をしよう」

2 単元の概要

(1) 単元の目標

- ・「油木学」をテーマに、地域の自然や産業、歴史などを調査し、地域の現状を知り、課題を見付けて、地域の豊かな未来のために何ができるか考えるとともに、自己の生き方を考える。
- ・地域社会の一員として、なすべきことを考え協力して活動する。
- ・「キャリア（将来設計）」をテーマに、自己をさまざまな観点から見つめて分析させ課題を見つけさせるとともに、進路探究学習を行い、将来を見通しながら社会で通用するためのスキルの習得をめざして、「生きる力」を身に付けさせる。

(2) 単元で育てようとする資質や能力

【学習方法に関すること】

- ア 興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析する。(思考判断)
- ウ 主体的に情報を集め、適切に選択し活用する。(収集整理・分析)
- エ 相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。(表現)

【自分自身に関すること】

- オ 自分の人生や将来、職業について具体的に考える。(将来展望)
- カ 自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動ができる。(計画実行)

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 仲間と協力して根気強く課題を追究し解決する。(協同)
- ク 社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動する。(社会参画)

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域の現状と課題
- イ 地域社会の一員としての自己の生き方
- ウ 進路情報による、意思決定

(4) 評価規準

評価の観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
評価規準	①課題に対し興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、学習課題を追究している。【(2) -ア, (3) -ア】 ②各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析している。【(2) -イ】 ③主体的に情報を集め、目的に合う情報を選択し活用している。【(2) -ウ】 ④相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。【(2) -エ】	①自分の人生や将来、職業について具体的に考えている。【(2) -オ, (3) -ウ】 ②自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動をしている。【(2) -カ】	①仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。【(2) -キ】 ②社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動している。【(2) -ク, (3) -イ】

3 単元計画

段階	月	時数	学習活動	観点	評価規準 (評価方法)	指導体制	教科等との関連
課題の設定	4月	8	○1・2年次の学習の振り返り(1・2年次の学習と関連) ○単元の目標と学習の流れの理解 ・1年時に学んだ事(地域の産業調べ)を振り返る。 ・シンキングツール「座標軸」を用いて、油木の過去について知っていることや未来予想や理想について書き出し整理する。	学①	・課題に対して興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、学習課題を追究している。 (ワークシート) ・各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析している。 (ワークシート)	学年	社会 理科 技術・家庭科
	5月		○学習課題の設定 ・各自興味を持ったテーマを選び、同じようなテーマの人と班をつくり、班ごとに課題を設定する。	学②			
情報の収集	6月	9	○情報の収集 ・必要な資料や知りたいデータをリストアップする。 ・データの入手方法を検討し、収集する。 ・地域を歩き、各班のテーマについて情報を集める。 ・地域の人をゲストティーチャーに招聘し、聞き取りをする。 ・行政等と連携し、必要なデータを集める。	自② 学③ 他①	・自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動をしている。 (ワークシート) ・主体的に情報を集め、目的に合う情報を選択し活用している。 (行動観察・資料) ・仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。 (行動観察)	学年	社会 理科
整理・分析	7月	2	○整理・分析 ・集めた資料を基に、油木の特徴や課題をまとめる。 ・欠けている資料がないか検討する。	学③	・主体的に情報を集め、目的に合う情報を選択し活用している。 (行動観察・制作物)	学年	社会 数学 理科

情報の収集		3	○調査活動 ・各班で必要なデータを出し合い、地域の人々にアンケート調査をする項目をまとめる。 ・アンケート用紙を作成する。 ・アンケートを地域に配布し、協力を求める。	他① 学④	・仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。(観察) ・相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。(制作物)	学年	国語 社会 数学 理科
整理・分析	9月		○整理・分析 ・アンケート結果を集約し、表やグラフにまとめる。 ・ゲストティーチャーから、データの分析についてアドバイスを受ける。 ・アンケート結果や収集したデータから、油木の現状を分析し、問題点を見つける。 ・ゲストティーチャーによる評価を受ける。	他②	・社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考えて行動している。(発表資料、ワークシート)	学年	数学 理科 社会
		18	○個人でデータ分析 ・各グループのテーマに沿って、個人データを分担する。 ・個人がデータを解決するためのポイントを整理する。	学①	・課題に対して興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、学習課題を追究している。(観察)	学年	国語 社会 理科 技術・家庭科
	10月	○情報処理 ・個人に必要なデータを他のグループのデータ等も参考にして再整理する。 ・データを分析し、適切なグラフや表にまとめる。 ・シンキングツールの「データチャート」を用いて、グラフや表等のデータから特徴などを読み取る等の分析を行う。 ・町への提言内容の構成を行う。	学③ 学④ 他①	・主体的に情報を集め、目的に合う情報を選択し活用している。 ・相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。(ワークシート) ・仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。(行動観察、ワークシート)	学年	国語 社会 数学 理科	
まとめ・表現	11月			自①	・自分の人生や将来、職業について具体的に考えている。(制作物)		
		6	○情報発信 ・提言内容をポスターにまとめる。 ・学年で、ポスターセッションを行い、質問を受け、内容の改善を行う。	他②	・社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動している。(行動観察)	学年	特活
		0	・文化祭での発表				
返振り		1	○振り返り ・文化祭の反省をもとに、自分たちの活動を振り返る。	他②	・社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動している。(ワークシート)	学年	国語 道徳
課題の設定		2	○「将来設計」をテーマに自己課題を設定する ・自己を様々な観点から見つめ、課題を見つける。	学①	・課題に対して興味・関心をもち、習得している知識技能を活用して、学習課題を追究している。(行動観察)	学年	特活
情報の収集	12月	3	○情報の収集 ・図書資料等を活用し、進路選択に関する様々な情報を収集する。 ・先輩や身近な人の進路選択から情報を収集する。	学③	・主体的に情報を集め、目的に合う情報を選択し活用している。	学年	特活 道徳
整理・分析		4	○整理・分析 ・キャリアノート等を活用して自己の課題を整理し、自己の生き方を分析する。	自①	・自分の人生や将来、職業について具体的に考えている。(ワークシート)	学年	特活
まとめ・表現	1月	13	○発表と交流 ・小論文を作成し、これまでの自己の生き方を振り返るとともに、これからの生き方を考え表現する。 ・自分は何をすべきかを考え行動する。	学④ 他② 他①	・相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。(小論文) ・社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動している。(行動観察・小論文) ・仲間と協力して根気強く課題を追究し解決している。(行動観察)	学年	国語 特活 道徳
返振り	2月	1	○振り返り ・キャリアノートを記入する。	他②	・社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動している。(キャリアノート)	学年	社会
	計	70					

総合的な学習の時間 全体計画

<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真面目であるが、更に学習意欲を向上させるために、将来設計力を鍛える必要がある。 	<p><u>学校教育目標</u></p> <p>知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる生徒の育成</p> <p><u>研究主題</u></p> <p>生徒の思考力、判断力、表現力の育成～言語活動の充実・活用を通して～</p>	<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上 ・豊かな社会性と人間性 ・健康で安全な生活 ・将来設計に基づく進路実現
---	--	---

総合的な学習の時間の目標

人口が減少し少子高齢化社会となっている神石高原町の現状を知り、町の抱えている問題に目を向け、解決方法を探っていくことによって、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

各学年の学習内容・指導の重点（特に身に付けさせたい力）

	1 学年（50 時間）	2 学年（70 時間）	3 学年（70 時間）
テーマ	①地域の福祉と産業を学習することを通して、地域の現状と職業への理解を深める。	①職場体験から自分のできる事を考える。 ②地域の文化と異文化を比較して我が町（県）をみつめる。	①油木の自然・歴史・産業などについて探究し、故郷の未来と自己の生き方を考える。 ②進路情報の収集をし、将来を見通しながら意志決定をする。
主な学習内容	①について ・地域の福祉を探究的に学習し、福祉体験学習を実施する。 ・地域の産業について学習する。特に農業については、トマト栽培を体験する。 ・様々な職業について探究的に学習する。	①について ・地域の産業と仕事について探究的に学習し、職場体験学習を実施する。 ・自己と社会との繋がりを意識し興味関心のある職業について探究的に学習する。 ②について ・将来国際社会の一員として生きていくために、異文化との比較と探究的な学習を通して、郷土に誇りをもつ。	①について ・地域について探究し、地域の豊かな未来のために何ができるか考えるとともに、自己の生き方を考える。 ・地域社会の一員として、なすべきことを考え協力して活動する。 ②について ・進路情報を収集し考察し意思決定する。
育てようとする資質や能力及び態度	【学習方法】 課題設定 思考判断 収集整理 分析 表現	○適切に課題を設定する。（課題設定） ○学習を通して課題の事実や関係を把握し、既習事項を活用して考える。（思考判断） ○相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。（収集整理・分析） ○相手や意図、目的に応じて表現する。（表現）	○興味、関心をもち、習得している知識技能を活用して、適切に課題を設定する。（課題設定） ○各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析する。（思考判断） ○主体的に情報を集め、適切に選択し活用することができる。（収集整理・分析） ○相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。（表現）
	【自分自身】 自己理解 将来展望 計画実行	○自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。（自己理解） ○自己の将来を考え、夢や希望をもつ。（将来展望）	○自分の人生や将来、職業について具体的に考える。（将来展望） ○自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動ができる。（計画実行）
	【他者や社会】 他者理解 協同 社会参画	○異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。（他者理解） ○学校内外の人との関わりやコミュニケーションができる。（他者理解） ○互いの特徴を生かし、協同して解決する。（協同）	○仲間と協力して根気強く課題を追究し解決する。（協同） ○社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動する。（社会参画）

指導方法	指導体制	評価計画
○体験活動と事前事後指導を充実させる。 ○言語活動（比較・関連・根拠・説明・分析・考察・把握）を充実させ、育てようとする資質や能力及び態度の育成を図る。 ○各教科で習得した知識・技能を活用させる。 ○協同的な学習により他者と意見交流させる。 ○シンキングツールを用いて、学習方法や内容を検討させる。	○学年体制で指導にあたる。 ○T Tで指導にあたる。 ○地域等の関係機関と連携し、必要に応じて外部人材を活用する。	○評価の観点と評価規準を設定する。 ○ポートフォリオ・制作物、ワークシートなどの評価物・発表・自己及び相互評価による。 ○事前事後のアンケートで成長を分析する。

各教科等との関連

国語	思考・表現(発言・記述)・伝え合う能力・情報活用、分析・発見・判断	音楽	技能・表現、創造、音楽と生活との関わり
社会	社会に関する教養(福祉・歴史・自然・文化)、社会参画していく資質と能力	美術	技能・表現、創造、美術と生活との関わり
数学	統計処理、情報活用、発見、思考、判断、表現、説明	保健体育	技能・表現、協力・参画・責任などの人間関係形成、社会形成、健康管理
理科	科学的思考(自然・化学) 考察、情報活用、発見、判断力、表現・科学技術と人間生活との関わり	技術家庭科	知識と技能の生活への活用、家庭生活との関わり・福祉
外国語	発見、思考、コミュニケーション、表現力	道徳	道徳的心情・判断・実践意欲と態度、キャリアプランニング、人間関係形成
特別活動	心身の調和のとれた発達と個性の伸長、進路設計・キャリアプランニング、人間関係形成、社会形成		

地域との連携	異校種との連携
○地域の社会福祉施設等関係機関との連携 ○地域公共図書館等の利用 ○地域事業所との連携	○中学校区内の小学校との連携 ○町内の各中学校との連携 ○町内の高等学校との連携